

# 在宅訪問食支援勉強会

(公社) 北海道栄養士会 地域活動栄養士協議会 主催

地域活動主催の在宅訪問の勉強会です。

高齢化がすすみ、栄養士・管理栄養士のニーズが益々高まっていますが、実際はどのような状況なのでしょう。在宅ケアの専門家に多方面から具体的なお話をしていただきます。これから在宅療養者の食支援に関わってみたいと思っている方 ご参加ください。

また、在宅訪問栄養指導に興味がある方も大歓迎です。多数のご参加をお待ちしています。

**【日 時】** 平成28年12月4日(日) 10:00~16:30

**【場 所】** かでる2・7 ~~1050~~会議室 1060会議室

**【受講料】** 会員 2,000円 非会員 3,000円 (当日徴収)

**【参加対象者】** 管理栄養士・栄養士 (先着80名)

**【生涯教育単位】** 講義1 412-103 1単位

講義2・パネルディスカッション 412-105 1単位

## プログラム

9:30 受付

10:00 講演1 「地域包括ケアに向けた多職種連携について」

札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課

認知症支援・介護予防担当課長 岡島 さおり

11:30 訪問事例「在宅訪問栄養食事指導の仕組みづくり：病院と診療所での実践」

医療法人財団 老蘇会 静明館診療所 大友 宣

12:00 昼休み

13:00 講演2 「地域での食支援体制の構築の必要性

－地域での食支援の現状と栄養士の役割－」

医療法人溪仁会 札幌西円山病院リハビリテーションセンター長 橋本 茂樹

14:45 パネルディスカッション

テーマ：地域での食支援における栄養士と多職種との連携の必要

座長 橋本 茂樹

パネラー 北海道ホームヘルプサービス協議会会長 七戸キヨ子

(ヘルパーステーション はばたき)

主任介護支援専門員 鈴木晴美 (札幌市社会福祉協議会)

看護師 森 明恵 (来夢ライン訪問看護ステーション)

歯科衛生士 工藤 由加里 (北32条歯科クリニック)

申込み方法：裏面の申込み用紙に必要事項を記入し、FAXにてお申込みください

【お申込み先】

# 在宅訪問食支援勉強会申込み用紙

北海道栄養士会

FAX

011-251-0783

★受講料は当日徴収いたします。

申し込みと同時に受講成立致します。

定員を超えた場合のみご連絡いたします。

日 時：平成28年12月4日（日）10：00～16：30

場 所：かでの2・7 1050 会議室

講演1：「地域包括ケアに向けた多職種連携について」

札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課 認知症支援・介護予防担当課長 岡島 さおり

地域包括ケアの実現のためには、個人へのサービスの質や量の確保だけでなく、地域に目を向け、住民に適した支援内容を公正に判断することが重要となります。特に専門職には、対象者をアセスメントする力、個人や家族の能力を引き出すコミュニケーション力、地域住民が健康的な生き方を選択できるよう支援する技術、そして役割・機能の異なる職種と目標を共有して連携・協働していくための関係を築く力が求められています。

講演2：「地域での食支援体制の構築の必要性－地域での食支援の現状と栄養士の役割－」

医療法人溪仁会 札幌西円山病院リハビリテーションセンター長 橋本 茂樹

食支援には食の基本である食べる機能へのアプローチと食べ物（食材と調理）からのアプローチ、栄養管理面でのアプローチの3つがあると考えます。3つのアプローチがしっかりかみ合うことが大切である。現場ではホームヘルパー、訪問看護、言語聴覚士、医科・歯科関連等の各職種の専門性と連携が重要となるが、現状は十分な連携ができていないと言えない。栄養管理をベースに嚥下食に関しては栄養士の介入が重要であるが、その重要さの認識が乏しいのが現状である。

会員番号	
氏 名	
電話番号 (日中の連絡先)	
住 所	
勤務先	
所属職域	地域 医療 福祉 学校教育 研究教育 勤労者 公衆衛生 非会員

【締 切】 平成28年11月30日